

地方創生推進交付金事業（「みたけ人」の人材育成を核とした御高の魅力情報発信促進事業）KPI達成状況等一覧

事業における重要業績評価指標（KPI）	担当部署（係名）	事業実施前 数値 ※実施計画より	R2事業実施結果				
			実績値 R2年度 末時点	当年度 目標値 (増加分)	実績値 (増加分)	達成率	実施担当部署 実施にあたっての自己評価及びコメント
KPI① 御嶽宿わいわい館の 年間売上高 (単位：千円)	まちづくり課ま ちづくり推進係	4,583	4,908	217	325	149.8%	おもてなし業務の運営方法を見直し、喫茶業務部分を「NPO法人ささゆり」に担ってもらうことで業務の効率化を図った。また就労継続支援にもつながった。 物販においては、従来のええもん認定商品の販売を行うとともに、観光協会で別途進めている城址跡の整備・観光資源化に合わせた御城印の販売により売り上げが増加した。また、まちづくりに関する住民団体による福印帳等の販売などにより住民活動の活性化が期待できる。
KPI② 御嶽宿わいわい館の 入館者数（年間） (単位：人)	まちづくり課ま ちづくり推進係	8,058	6,153	1,042	△ 1,905	-182.8%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、わいわい館内におけるおもてなし業務の一時休止、館の閉館の対応をおこなったものの、9月からは、可児才蔵武功伝承館を開設し、才蔵に焦点を当てた魅力発信の取組を展開した。
KPI③ 環境学習講座の 参加者数 (単位：人)	環境モデル都市 推進室	663	138	107	△ 525	-490.7%	令和2年度は、夏休み子どもエコ講座や環境フェア、環境未来都市への中学生派遣事業のほか、学校からの依頼に基づいて行う自然観察会・カワゲラウォッチングなど、多くの事業がコロナ禍で中止となり、期待していた成果を得ることができなかった。 コロナ禍の特殊事情を除いたH29・H30・R1年度は実績が目標を上回っており、経常的に目標を上回ることができる体制が整っている。 また、参加者のアンケートによれば、北海道下川町への派遣事業は、ほとんどの生徒に環境意識の高まりが見られ、「みたけ人」の育成に一定の効果があったといえる。
KPI④ 工業団地における 町内居住従業員率 (単位：%)	まちづくり課ま ちづくり推進係 ※その他あり (企画課)	22.2%	21.6%	0.7%	-0.6%	-85.7%	工業団地内企業全体の従業員数は減少傾向に転じている。そのなかで、本社からの出向者や契約社員の増加など雇用形態の変動により町内従業員率が減少しているものと考えられる。また、交通の便の向上による町外通勤者の増加も影響していると考えられる。 例年実施している高校生キャリア教育等により町内企業への興味・関心を高め、若い世代の町外流出を食い止める取り組みを強化していく必要がある。